

2011年10月13日(木曜日)

平成23年度 9月補正予算 が成立

「福井新々元気宣言」に基づく施策を充実し、東日本大震災の知見を踏まえ防災対策を強化

9月定例県議会において、一般会計で約35億円の平成23年度9月補正予算が成立しました。
そこで今回の県政だよりでは、その特色や主な事業などについて特集します。

「9月補正予算」って？



福井県の「9月補正予算」が成立したってニュースで流れていたけど、ちょっと前にも6月補正予算っていうのがあったんじゃないかなって？



よく覚えていたね。

県の仕事に必要な予算は、年度が始まる4月までに「当初予算」として決めるんだけど、実際に仕事を進める中で、必要に応じて予算を追加したり変更するんだ。これを「補正予算」と呼ぶんだよ。



補正予算があることで、社会の状況や県民のニーズに応じた柔軟な対応ができるんじゃないかね。



たしか、今年は4月に知事選挙などがあったから、当初予算は必要最小規模に抑えて、6月補正予算で福井独自の事業なんかを追加したのよね。



そうだったね。

そして今回の9月補正予算では、このところ観光客数や宿泊客数の落ち込みが大きい観光分野での支援策を強化したり、日ごとに成長する子どもたちに合わせて教育メニューを増やしたりと、「福井新々元気宣言」にある政策をさらに充実させたそうだよ。



新聞には、防災面での対策も強化するってあったわ。



東日本大震災の教訓をもとに、国の動きを待たずに福井ですぐにできる防災対策をしっかりと進めていくそうじゃ。



それは心強いね！



それじゃ、具体的にどんな事業をこれから進めていくのか、この「県政だより」で見てみましょう。



長男(小学6年生)

福井新々元気宣言に基づく施策の充実

元気な産業

民宿などへの誘客を支援

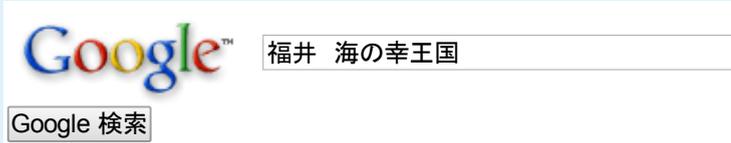
秋・冬の観光シーズンに向け、宿泊客数が減少傾向にある民宿等への誘客を促進するため、地元の観光協会などが行う緊急誘客

キャンペーンを支援します。



楽天トラベルで福井の魅力を発信中

大手インターネット宿泊予約サイト「楽天トラベル」で、11月11日まで、県内の新鮮で豊富な地魚や、それらを堪能できる宿泊施設などの特集ページ「海の幸王国」を開設中。越前海岸や若狭湾ならではの魅力を全国に発信し、誘客を促進しています。「越前がに」など特産品が当たるキャンペーンも実施中です。



国内外からの誘客を促進

平成26年度に北陸新幹線の金沢開業や舞鶴若狭自動車道の全線開通が予定されます。県外や経済成長が著しい東アジア圏からの誘客拡大につながるため、本県への旅行商品を企画・販売する国内外の旅行会社に対して助成します。



台湾では現地大型スーパーと連携し、福井県物産展を開催



海外ビジネス相談窓口「ふくい貿易促進プラザ」開設

アジアをはじめとする海外への進出や販路開拓を図る県内企業を支援するため、県と経済団体などが連携して、9月に「ふくい貿易促進プラザ」を新たに開設。専門的な知識と経験を持つ「アジア市場専門員」を配置し、相談に応じるほか、ビジネス情報の提供などを行っています。ぜひ積極的にご利用ください。

【問い合わせ】ふくい貿易促進プラザ

場所／福井商工会議所ビル内(福井市西木田) TEL／0776-89-1140

利用時間／8時30分～17時15分(土日祝日、年末年始を除く)

元気な県土

お母さん



アジアの原子力の安全技術・人材育成を支援

アジア12か国の原子力関係行政・研究機関のトップが集まり、医学・農業・工業・人材育成分野における原子力の平和利用について協議する「アジア原子力協力フォーラム・コーディネーター会合」が、来年3月に本県で開催。これに合わせ、テクニカルツアーの実施など、会議運営に協力します。

利用しやすいバスの導入を支援

日常で利用するバス路線の利便性を向上させるため、デマンド型バス(利用者の求めに応じて運行する事前予約型のバス)の導入や、中心市街地に向かうバスに乗り継ぎしやすい郊外路線の見直しなどの実証試験に対して支援します。

災害に強いインフラ整備を推進

今年1月の豪雪の際に道路の円滑な交通に支障が出た市街地の融雪装置の整備のほか、5月の大雨時に法面(のりめん)の崩壊や浸水被害が発生した箇所の対策工事などを重点的かつ早急に進め、ハード面での災害に強いまちづくりにつなげます。

元気な社会

おしいちゃん



幼児教育を充実

ゼロ歳から高校までの「福井型18年教育」のスタートとなる幼児教育を充実するため、保護者を対象とした一日保育体験の機会を新たに作り、子どもの育ちや保育に関する理解を深めます。

また、保護者など約3000名を対象に家庭教育の実態調査を実施。加えて、この結果を踏まえた報告会を開催するほか、現在策定中の幼児期向け教育プログラムなどの基礎資料として活用するなど、親の子育て力や教員・保育士の教育力の向上を目指します。



9月には幼児教育の先進国フィンランドから専門家を招いた講演会も開催

生徒・教員の英語力を強化

大学教授など英語教育の専門家による検討委員会を新たに設け、本県独自の英語教育の方向性を中長期的な視点から検討。英語教員の指導力アップや授業の改善を図り、生徒の英語コミュニケーション能力を伸ばします。



ALT(外国語指導助手)や友達と英語だけを使って生活する「高校生英語キャンプ」を夏休みに開催し、英語力を向上

高校生に世界の一流科学者の講演を

ノーベル化学賞を受賞された根岸英一(ねぎしえいいち)博士や、世界で23名の女性化学者に贈られる女性化学賞に国内で唯一選ばれた相馬芳枝(そうまよしえ)博士による講演会「ふくいサイエンストーク」を開催。高校生の科学に対する興味を高め、知的探究心を育成します。

check

ふくい理数グランプリ最優秀賞決まる

中高生に科学的な思考力や判断力を高めてもらおうと、県が毎年開催している「ふくい理数グランプリ」の本選を9月に開催。次の皆さんが見事、最優秀賞に輝きました。

ふくい理数グランプリ 最優秀賞 受賞者・チーム

中学校部門	数学(個人)	澤田大輝さん(福井大学附属中3年)
	理科(団体)	「春中メガネトリオ」チーム(坂井市春江中)
高校部門	数学(個人)	角埜光さん(藤島高2年)
	物理(団体)	「武生」チーム(武生高)
	化学(〃)	「高志ω(オメガ)」チーム(高志高)
	生物(〃)	「1年7組」チーム(藤島高)
	地学(〃)	「高志α(アルファ)」チーム(高志高)



中高生のサイエンス分野における知的探求心を刺激した「ふくい理数グランプリ」

太陽光発電・省エネ設備の導入をさらに支援

太陽光発電設備と、高効率給湯器、LED照明などの省エネ設備を導入する際の補助金枠を拡大し、再生可能エネルギーの利用をさらに促進します。

安心で明るい通学路整備を推進

明るい通学路の整備をさらに進めるため、市町が設置するLED防犯灯について、集落間に重点を置いて支援し、子どもたちの安全・安心を向上させます。

元気な県政

学生のUターン就職をさらに促進

今年から就職活動の開始時期が10月から2か月遅くなるため、就職活動が本格化する前に、本県出身の学生が多い県外大学を訪問し、県内企業の魅力をPRします。また、合同企業説明会も開催し、福井へのUターン就職を促進します。



お父さん



県外で開催する合同企業説明会などは
学生に便利で好評

東日本大震災の知見を生かした防災対策の拡充

独自調査を行い津波対策を強化

津波対策を強化するため、隣県や関係機関の協力のもと、想定される津波高や到達時間に基づく被害調査を独自に行います。また、この結果に基づき、県地域防災計画の見直しを行うほか、市町のハザードマップ作成を支援し、住民の避難対策の強化につなげます。



8月には津波を想定した実践的な
住民避難訓練を若狭町で実施

放射能の監視体制を県全域に拡大

空気中の放射線量を測定するモニタリングポストを嶺北や原子力発電所周辺に15台新設し、県内すべての市町を網羅する放射能監視体制を構築。皆さんが自らの生活エリアにおける放射線の状況を知り、安全・安心を実感できる環境を整えます。

被災・避難された方に住まいを提供

被災地から本県に避難した方々の生活を支援するため、被災県の要請に基づき、応急仮設住宅として民間の賃貸住宅を借り上げ、最長2年間提供します。

東日本大震災復興ボランティアを応援

災害復旧から復興段階に入った被災地を応援するため、専門知識や技能、経験を生かして自発的にボランティア活動を行う団体・グループに対して助成します。

対象／被災地で行う5名以上の団体の活動、県内で行う10名以上の団体の活動

補助率／対象経費の1/2 補助額／25万円以内

【問い合わせ】ふくい県民活動センター(アオッサ7階) 0776(29)2522、福井県総務部男女参画・県民活動課 0776(20)0319

詳しい内容は、[県のホームページ](#)に掲載されていますので、ご覧ください。
この記事に関するお問い合わせは、福井県総務部財務企画課 0776(20)0233までどうぞ。